

学校長あいさつ

ご挨拶

保護者の皆様、お子様のご入学・進級、おめでとうございます。

福井前校長の後を受け、本年度、校長として赴任しました奥苑 浩二（おくぞの こうじ）です。144年の歴史と伝統のある山田小学校に第35代校長として赴任できたことを大変うれしく思っています。

管理職としては8年目で、前任校は長尾小学校で、3年間、校長を務めました。

私の教育のモットーは「主体性のある子ども(自らよく考える子)を育てる」ことであり、指示待ちでない子ども、自分の頭で考えて行動できる意欲ある子どもを育てたいと考えています。

山田小学校は、長らく「めざす子ども像」として三つの目標を定め、教育活動を展開してきたと聞いています。（思いやりのある児童、最後までやりぬく児童、自主的に行動できる児童）

私は、その三つの子ども像の上に「自らよく考える子」という「冠（かんむり）」を配しました。「自らよく考える子」というのは、最終的にこのような子どもが育ってほしいという結果目標であるとともに、普段の生活からの行動目標です。

小学校段階で、「自らよく考える」経験を重ねることで、生涯を通して、自らの人生の様々な問題に立ち向かっていくことのできる、主体性のある子どもが育つと私は考えます。そして、そのような経験の中で「知・徳・体」の調和的な伸長が図られ、山田小が長らく掲げている三つの子ども像が達成されると考えます。

朝、門で子どもたち迎えていると、「おはようございます!!」と元気な声がたくさん返ってきます。素直でまっすぐな山田小の子どもたち、さらにまっすぐに、主体的で意欲のある子どもたちに育てたいと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、ご協力・ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

枚方市立山田小学校長
奥苑 浩二

山田小学校の紹介

ゆりの木 とうかえでの木



本校は今年創立145年目となる、歴史ある学校です。

京阪枚方市駅から北東にバスで約10分のところに位置し、周りを住宅に囲まれた地にあります。校庭には、樹齢100年を

超える大きなトウカエデの木があり、「ゆりの木」の愛称で

親しまれてきました。ゆりの木は、季節の変化を告げながら、何十年も山田小学校の子どもたちの成長を見守り続け、たくさんの卒業生にとって、心のふるさとなっています。

明治12年の創立以来、枚方市の人口増加に伴い、本校が母体となって、明倫、桜丘、交北、中宮、田口山、山田東小学校へと分離し、育んできた歴史があります。この間、歴代の校長先生、教職員をはじめ、保護者、地域の皆さま方のご支援、ご協力により、多数の卒業生が巣立っていきました。

山田小学校の合言葉



あいさつ・目 (eye)
を見る・ふれ合い

山田小学校の合言葉は「幸せの あい・eye・合い」。

「あいさつを相手を見てしっかりする。相手を見て話をしたり聞いたりする。ふれ合いを大切にする。」ことを大切にしています。

みんなちがって
みんないい

令和6年4月10日現在、児童数は176人。通常の学級7学級、支援学級4学級の合計11学級です。小規模校ならではのあたたかい雰囲気の中、『みんなちがって みんないい』のスローガンの下、教職員一同チームワークを大切に、保護者や地域の皆さま方のご理解とご支援をいただきながら教育活動を展開しています。